

平成 24 年度水質の測定結果

1 測定内容

(1) 測定項目

[公共用水域]

- ア 健康項目 : 砒素など 27 項目
- イ 生活環境項目 : 生物化学的酸素要求量(BOD)など 9 項目
- ウ 要監視項目 : 農薬など 26 項目
- エ その他の項目 : 銅など 9 項目

[地下水]

- オ 環境基準項目 : 砒素など 28 項目
- カ 要監視項目 : 農薬など 20 項目

(2) 測定地点数

公共用水域				地下水
河川	海域	湖沼	計	
191	51	1	243	139

(3) 測定回数

[公共用水域]

環境基準点においては原則年 1 2 回、その他の地点においては原則年 4 回実施しました。

[地下水]

原則年 1 回実施しました。

2 測定結果

環境基準として定められている健康項目と生活環境項目についての測定結果は次のとおりです。

(1) 公共用水域

ア 健康項目

74 地点 (河川 70 地点、海域 4 地点) で測定を実施し、表 1 のとおり、砒素について 2 地点で環境基準を超えていました。

図 1-1 は、岩戸川水系土呂久川の 2 地点の砒素の昭和 47 年以降の経年変化を示しています。平成 22 年度以降は減少していますが、依然として環境基準超過の状態が続いています。図 2-1 は測定地点を示しています。

図 1-2 は、小丸川上流の 1 地点の砒素の昭和 49 年以降の経年変化を示しています。平成 21 年度に環境基準を超過して以降、ほぼ横ばいで推移していましたが、平成 24 年度は環境基準を達成しております。図 2-2 は測定地点を示しています。

なお、砒素以外の健康項目については、すべて環境基準を達成し、環境基準達成率は 97.3% となりました。

表 1 砒素が環境基準を達成しなかった地点(環境基準:0.01mg/L)

水域名	河川名	地点	年平均値(mg/L)
岩戸川	土呂久川	東岸寺用水取水点	0.030
	土呂久川	岩川用水取水点	0.031

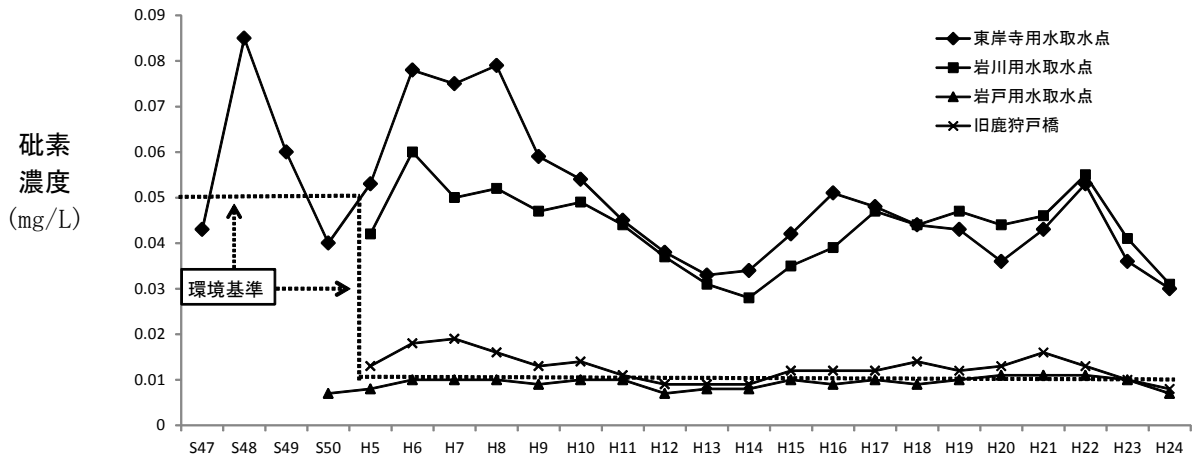


図1-1 岩戸川水域の砒素濃度経年変化
 (*環境基準：平成4年まで0.05mg/L, 平成5年より0.01mg/L)

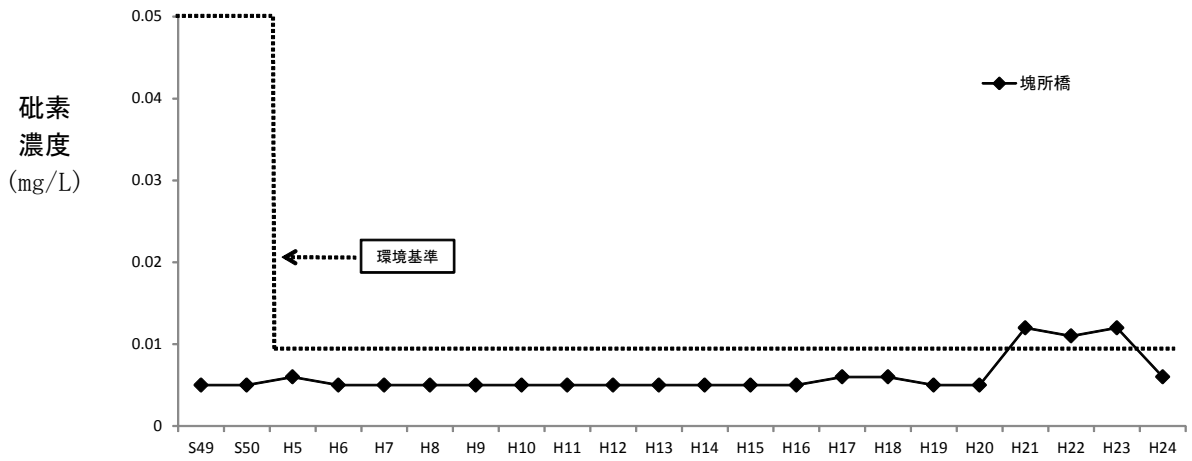


図1-2 小丸川上流(塊所橋)の砒素濃度経年変化
 (*環境基準：平成4年まで0.05mg/L, 平成5年より0.01mg/L)



図 2-1 岩戸川水系測定地点における過去 5 年間の砒素の測定結果 (単位:mg/L、環境基準:0.01mg/L)

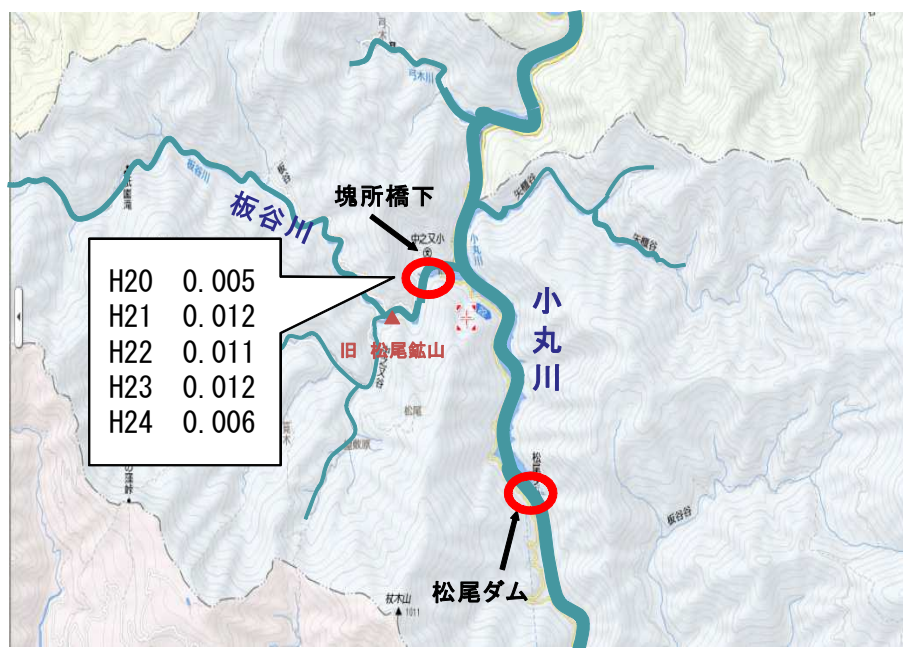


図 2-2 小丸川上流測定地点における過去 5 年間の砒素の測定結果 (単位:mg/L、環境基準:0.01mg/L)

イ 生活環境項目

河川汚濁の代表的指標であるBOD及び海域汚濁の代表的指標であるCODは、環境基準類型のあてはめられた89水域（河川79、海域10）全ての地点で環境基準を達成していました。

環境基準達成率は100%となり、図3のとおり全国の達成率と比較して大きく上回っており、近年高い水準を保っています。

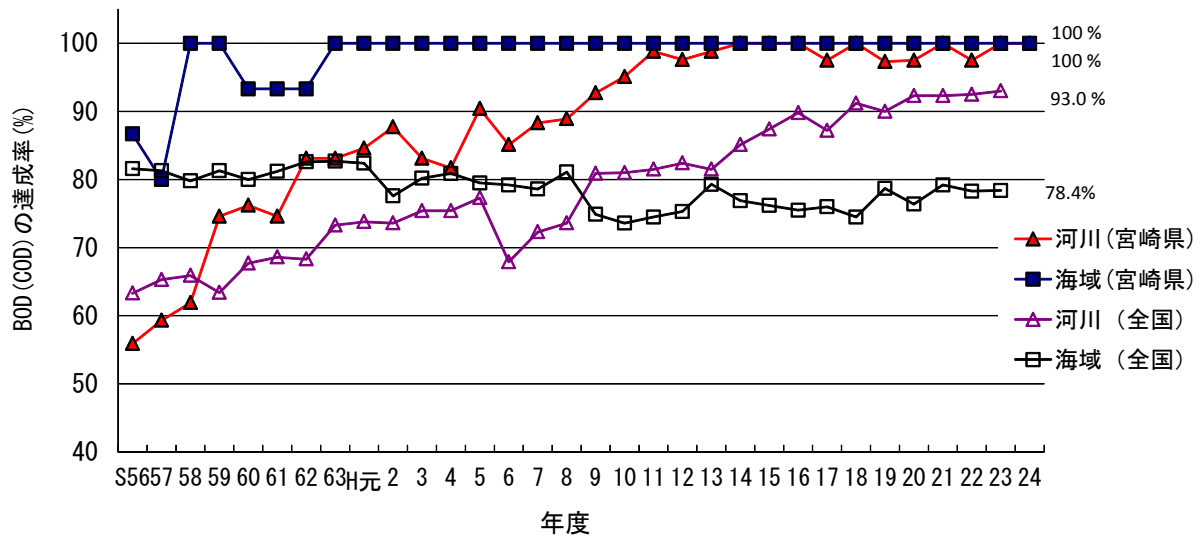


図3 河川・海域の環境基準（BOD、COD）の達成率の推移

(2) 地下水

ア 概況調査

地域の全体的な地下水質の把握のために県内を5Kmメッシュに区切り実施するメッシュ調査と、有害物質を使用している（または過去に使用していた）事業場及びその周辺について実施する有害物質使用事業場周辺調査があり、いずれの調査でも環境基準を達成していました。

イ 継続監視調査

過去に環境基準を超過していた地点（井戸水）の継続的な監視のために行う継続監視調査において、18地点で環境基準を達成していませんでした。

調査名		調査地点数	基準未達成地点数	内 容 ※（ ）内は平成23年度結果
概況調査	メッシュ調査	47	0	全地点で環境基準に適合 (砒素及びふっ素が1地点で環境基準超過)
	有害物質使用事業場周辺調査	37	0	全地点で環境基準に適合(全地点で環境基準に適合)
	定点調査	2	0	全地点で環境基準に適合(全地点で環境基準に適合)
	計	86	0	
継続監視調査		53	18	18地点で環境基準を未達成 〔 砒素及びふっ素 1(0) 砒素 4(4) 揮発性有機化合物 8(13) 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 5(6) 〕 ※（ ）は平成23年度の基準超過地点数

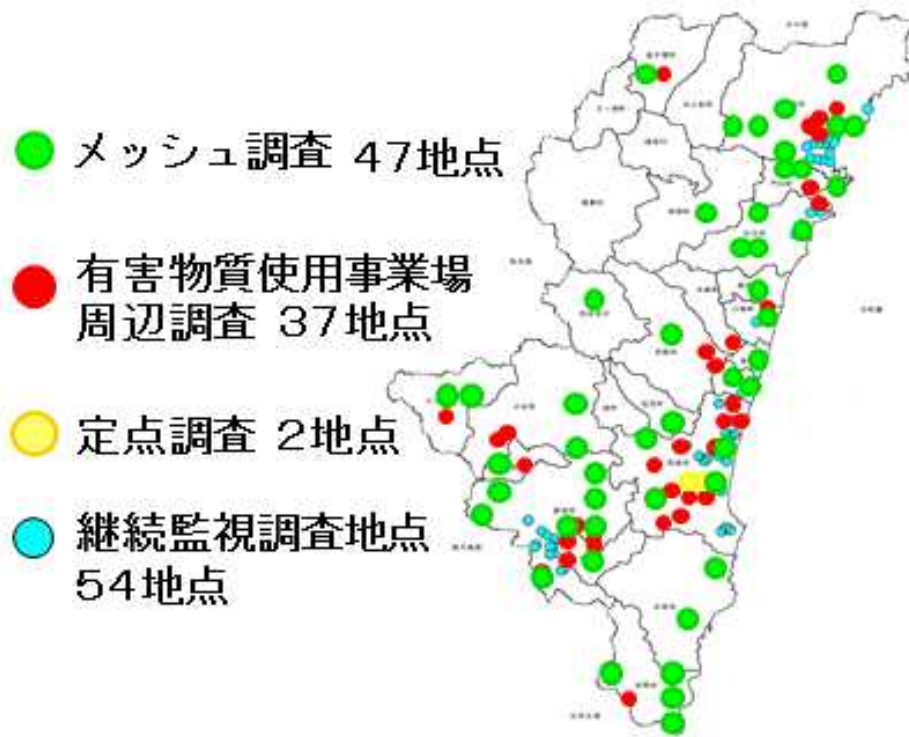


図1 地下水調査採水井戸状況（全体）

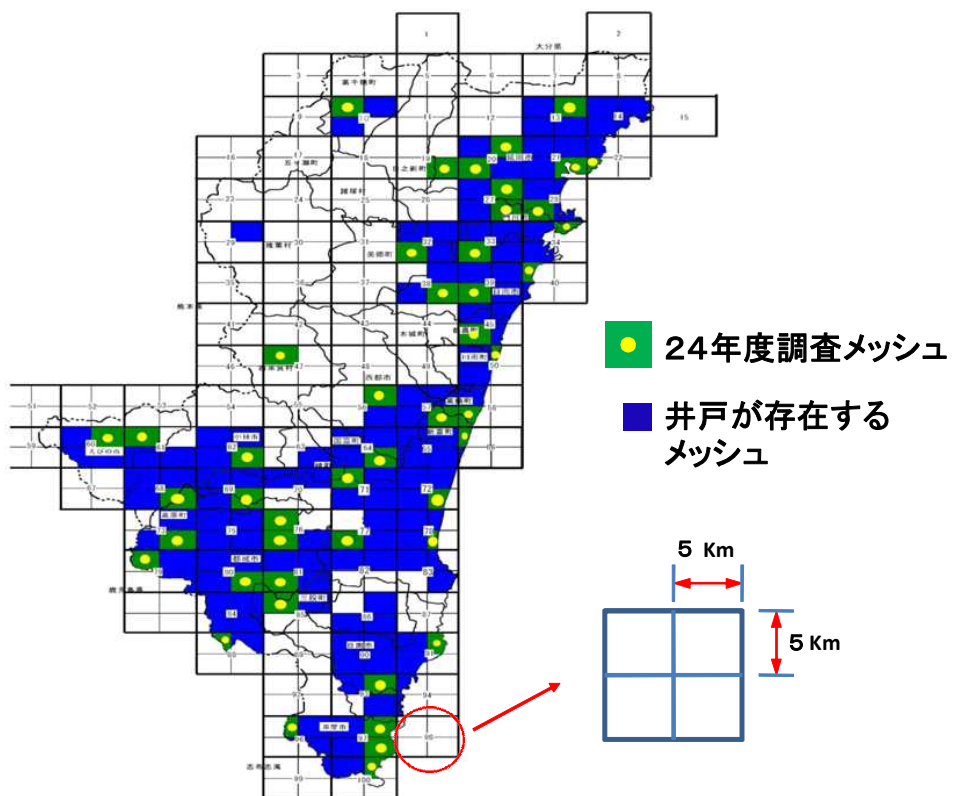


図2 メッシュ調査採水井戸状況